

6年生 「6 資料の調べ方」④

月 日()

準備するもの：教科書・ノート

1 教科書 P78を開きましょう。

学習のめあて

ちらばりのようすを表に整理して調べよう。

2 学習のめあてをノートに書きましょう。

3 教科書 P78の1組の表を見ましょう。

4 どのような表になっていますか。気づいたことをノートに書きましょう。

5 次の文章を読んだ後、ノートに書きましょう。

P78の表のように、区切った1つ1つの区間を
かいきゅう
階級という。

6 1組では、30m以上35m未満の階級に5人います。P75のドットプロットを見て、このことを確かめてみよう。

7 1組の表のように、2組、3組の記録を表に整理してみよう。

8 P79①の問題をときましょう。

9 ノートに今日の学習のふりかえりを書きましょう。

～わかったこと、大切だと思ったこと、疑問に思ったこと、次にやってみたいこと～ など

10 教科書 P79下の「度数分布表・度数」を読みましょう。

答え

6年生 「6 資料の調べ方」④

月 日()

準備するもの：教科書・ノート

1 教科書 P78を開きましょう。

学習のめあて

ちらばりのようすを表に整理して調べよう。

4 どのような表になっていますか。気づいたことをノートに書きましょう。

5 次の文章を読んだ後、ノートに書きましょう。

P78の表のように、区切った1つ1つの区間を

かいきゅう
階級という。

7 1組の表のように、2組、3組の記録を表に整理してみよう。

2組

きより (m)	人数 (人)
10 以上～15 未満	0
15 ～20	5
20 ～25	6
25 ～30	6
30 ～35	7
35 ～40	2
40 ～45	0
合計	26

3組

きより (m)	人数 (人)
10 以上～15 未満	2
15 ～20	4
20 ～25	7
25 ～30	5
30 ～35	4
35 ～40	3
40 ～45	2
合計	27

8 P79①の問題をときましょう。

・30m以上の人数

1組 9人 2組 9人 3組 9人

・20m未満の人数

1組 6人 2組 5人 3組 6人

・いちばん人数が多い階級と人数

1組 25m以上 30m未満 7人

2組 30m以上 35m未満 7人

3組 20m以上 25m未満 7人

10 教科書 P79下の「度数分布表・度数」を読みましょう。

『春はあけぼの』

準備する^{かず}① 教科書 228頁～231頁～241頁～

◎

に入る言葉を教科書から探し出します。(アリも同じ言葉が入ります。)

〈作品名〉「春はあけぼの」が書かれているのは

ア

ひとつ作品である。

〈作者〉

ア

の作者は

イ

である。

〈時期〉

ア

は今から

ウ

に書かれた。

〈内容〉

ア

は

エ

について自分の見たり聞いたり

感じたりして思ひたりいを文章にまとめる。

◎ まずは『春』を読んでみる。()がねやいふせ、()をいふせも読む。

=====
音読のポイント--
①昔の言葉で書かれてるので、慣れるまで何度も読んでみる。
②1文字讀じてひらがなを図字で讀むと読みやすくなります。
③慣れてきたら、リズムをつけて読んでみる。

春はあけぼの。

(三行三行)

(四)

やひやひ 白くなりゆく 日出は すいしおからて

紫だらだる 雲の 繩くだなびもだる。

(一) 音読して読みながら文書してみる。

=====
著であるひとのポイント--
①この作品は古い時代に書かれたものです。
②238ページの今の言葉で書かれた文章を読んで考えてみる。

ものの燃え方 (No.3)

6年 組 名前

○<実験1>の結果から、酸素を入れたびんの中に入れたろうそくの火も、やがて消えることが分かった。

<学習問題> (P.18 の?)

--

<実験2>

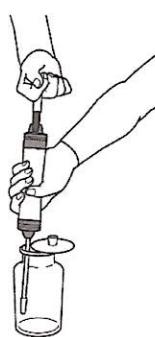
燃やす前と燃やした後の空気をいろいろな方法で調べる。

[ア] 気体検知管で調べる。

气体検知管と石灰水の扱い方は P.210 と P.211 にあるので読んでおこう!!

[イ] 石灰水で調べる。

[ア]



[イ]



<結果2>

[ア] 気体検知管で調べる。

酸素(燃やす前)

	燃やす前	燃やした後
酸素		
二酸化炭素		



酸素(燃やした後)

[イ] 石灰水で調べる。

<結論>

ろうそくなどのものが燃えると、空気中の

--

が減り、

が増える。

P.21~25 も読んでおこう!

*ものが燃えると、空気中の〇〇の一部が使われて、〇〇〇〇ができる。

